

豊栄病院患者総合支援センター いするぎ通信 平成30年12月

紅葉狩りに行きました？ 熟成したモミジの種は、風速5mで15mから落とすと、ヘリコプターのように回りながら、50mも飛ぶそうです。試してみたがそんなに飛ばない。

今月もいするぎ通信を届けます。



臨床検討会のお知らせ

日時:平成31年1月8日(火)午後6時

場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール

講演:糖尿病の腎障害(仮) 樺沢秀門 先生

共催:豊栄病院、MSD 株式会社

●1月の臨床検討会は、新大病態栄養学寄付講座特任助教の樺沢秀門(かばさわひでのり)先生にお願いしました。糖尿病に関連する腎障害の話の予定です。楽しみです(柄澤)。

●ほうかん日誌: 訪看は雪が嫌いです。

団塊の世代が75才以上となる2025年を前に、8050問題が話題となっています。引きこもりや無職などで安定した収入がなく親の年金で何とか暮らすという50代の子(男性が多い)と80代の親の世帯が、親の病気や介護などで生活が難しくなり、支援を受けられないまま周囲から孤立し生活が困窮に追い込まれてしまう…という問題です。もちろん私たちが訪問しているお宅には何らかの支援が入っているわけですが、このような2人世帯は珍しくありません。そんなことを考えていたら発見しました。10080問題。もはや位が違います。なんと3件ありました。ただ単純に老々介護問題なわけですが、100代の親は寝たきりで80代の子

は足腰が痛いと言っていますが、みなさんポジティブです。これからも時々入院、ほぼ在宅が継続できるようにお手伝いしていきたいと思っています(勝沼)。

●多職種チームでの看取りの検討会

日時:平成30年12月4日午後5時15分

場所:豊栄病院 5階 会議室

前回の症例は他院で看取りの方針となっていた転院患者でした。終末期の判断が妥当であるかどうかの考え方について議論がありました。今回は癌末期の患者さんの検討を再現します。是非参加を御検討ください。なお、検討会の内容は、「Drキリコとブラックジャックの対話」という文書にまとめていきますので参加できない方はご覧ください。問い合わせや参加は患者総合支援センター 天木まで(柄澤)。

●NST勉強会

前回院外からの参加者が10名になりました。残念ですが、冬期間はお休みします。春になったら再開しますので待って下さい(小林真)。

●糖尿病教室

日時:平成31年1月18日(金)午後1時半

場所:豊栄病院 多目的ホール

初心者対象の糖尿病教室を隔月で開催しています。病気と治療を一通り学びます。指導が必要な患者様をご紹介下さい。スタッフの参加も歓迎します。指導のヒントにどうぞ。お問い合わせは患者総合支援センター・天木へ(菊地博)。



編集:忘年会飲みすぎない。センター長柄澤良